

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 作成)

小委員会名	土地利用問題小委員会	主 査 名 : 浅野純一郎 就任年月 : 2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	都市計画委員会	委員長名 : 出口 敦 主 査 名 :
設 置 期 間	2013 年 4 月 ~ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の諸都市におけるリバーススプロールの実態を地方都市、大都市圏諸都市の双方において解明する。 ・リバーススプロールへの対策について、各自治体の計画評価や運用面を含めた制度評価を行い、具体的な計画提案・制度提案に繋げる。 ・これらの議論を、具体的な都市における研究会を催す中で、地域の専門家や行政、市民などと共に蓄積する。 	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無 : 有 浅野純一郎 (豊橋技科大)、姥浦道生 (東北大)、松川寿也 (長岡技科大)、秋田典子 (千葉大)、勝又済 (国総研)、中西正彦 (横浜市大)、吉中美保子 (西日本鉄道)、柴田祐 (熊本県立大)、原田陽子 (福井大)、村上暁信 (筑波大)、岡井有佳 (立命館大)、眞島俊光 (日本海コンサルタント)、藤田朗 (日建設計)	
設置 WG (WG 名 : 目的)		
2013 年度予算	200,000 円	ホームページ公開の有無 : 有り 委員会 HP アドレス : http://urban.nagaokaut.ac.jp/~plan/tochimonkaisyounkai/tochimain.html

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	オーガナイズドセッション
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. RS の実態調査による研究成果と大会 OS によって、RS の発生状況と空き家空き地施策について実態把握と取り組み施策の具体的事例の収集を進めた。 2. 浜松市と静岡市という、郊外土地利用計画の相反する二都市における現地視察や意見交換から、RS への取り組みの難しさや課題に関する知見を得た。 以上より、本年度の活動計画はおおむね達成できたと評価する。

委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 活動の活発化の為の、外部研究資金の獲得。 2. RS の発生事例や対策に関わる実践事例について、委員自らが研究の遂行に努め、OS 等を通じて発信や意見交換をすること。委員の活動参加の程度。
-------------------	--

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。